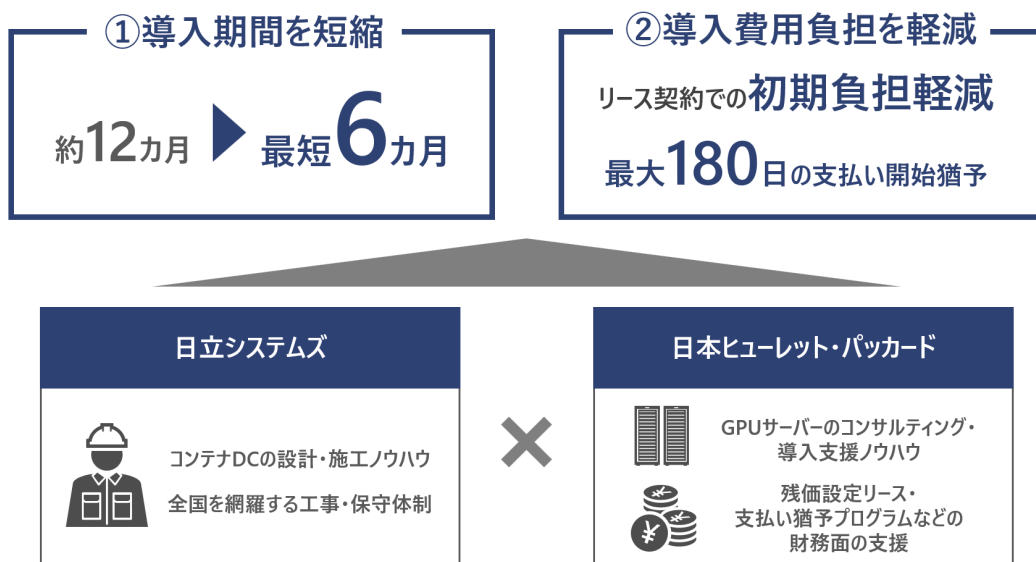


2026 年 9 月 14 日
株式会社日立システムズ

日立システムズと HPE が協業を強化し、コンテナ型データセンターの迅速な提供体制を構築
ファイナンスサービスを組み込んだコンテナ DC をモデル化し、最短 6 カ月での導入と導入費用負担の軽減を実現

コンテナ型データセンターの



協業強化による効果

株式会社日立システムズ（以下、日立システムズ）は、企業の AI 活用ニーズに対応するため、日本ヒューレット・パッカード合同会社（以下、HPE）とのコンテナ型データセンター（以下、コンテナ DC）事業における協業を強化します。

本協業の強化は、日立システムズが長年培ってきたコンテナ DC の設計・施工ノウハウおよび全国を網羅する工事・保守体制と、HPE が提供する GPU サーバー活用のコンサルティングや導入支援のノウハウ、ならびに HPE Financial Services（以下、HPEFS）によるファイナンスサービスを組み合わせ、コンテナ DC 導入の「期間を短縮したい」、「初期費用を下げたい」という日本市場におけるニーズに対応したコンテナ DC をモデル化して提供するものです。

これにより、従来約 12 カ月かかっていたコンテナ DC の導入期間を最短 6 カ月^{*1}まで短縮するとともに、対象となる IT 機器・設備への一括投資を抑え、導入初期の資金負担を軽減します。そして、AI 基盤を早期に立ち上げたい企業に対し、設計・施工から運用・保守、ファイナンスまでを一体で支援し、AI 活用の迅速化と安定運用に貢献します。

^{*1} 日立システムズ所定の空冷 GPU サーバー構成および標準仕様を採用した場合の目安です。導入期間は、構成、設置環境、電力設備、各種申請その他の条件により異なります。

■背景

AI 活用ニーズの急拡大に伴い、データセンターを短期間で構築したいというニーズが増加。

一方、高額な初期費用が導入の障壁に

AI の普及により、GPU サーバーを稼働させるためのデータセンター需要が高まっています。日本のデータセンターサービスの市場規模（売上高）は、2023 年に約 2 兆 7000 億円であり、2028 年には、約 5 兆 1000 億円に達すると見込まれています^{*2}。

しかし、データセンターの代表的な形態である建屋型データセンターの建設は、人材不足や建設資材の不足・高騰、土地取得費用の高騰といった状況にあります。より経営に直結する重要データを AI で分析するため、自社専用環境で GPU サーバーを稼働させることができるデータセンターを活用したい企業にとっては、導入期間の長さや高額な初期費用が導入する際の障壁になっています。

そこで、注目されているのが、コンテナの中にデータセンターを構築するコンテナ DC です。コンテナ DC は、建屋型データセンターに比べ、短納期、低コスト、設計の柔軟性といった特長があります。しかし、コンテナ DC においても納期が 1 年以上、数 10 億円の初期費用になることもあり、導入を検討する企業からは、さらなる納期短縮や財務面の支援が求められています。

*2 出典：「令和 7 年版情報通信白書」（総務省）

(<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd218100.html>)

■特長

GPU サーバー活用のコンサルティングからコンテナ DC の設計・施工・運用・保守、ファイナンスサービスまでをモデル化し、AI 活用環境の迅速な立ち上げと安定稼働をワンストップで支援

これまで日立システムズは HPE Partner Ready Vantage プログラムの Platinum Partner として、HPE 製品を活用した多くのシステム導入やハード／ソフトのワンストップサポートサービスの領域において実績を重ね、協業してきました。

今回の協業強化により、日立システムズが持つコンテナ DC の設計・施工・運用・保守ノウハウ、HPE が持つ GPU サーバー活用のコンサルティングや導入支援のノウハウ、および「残価設定リース」や「支払い猶予プログラム」といったファイナンスサービスを組み合わせ、モデル化したコンテナ DC を短納期かつ、お客さまの初期費用負担を軽減して提供できるようになります。これにより、お客さまの AI 基盤を早期に活用したいというニーズに応えるとともに、導入・運用・保守の負担も軽減し、企業の AI 活用の推進に貢献します。今回、両社でモデル化したコンテナ DC の特長は、以下のとおりです。

特長①標準モデルの採用により、AI 基盤を最短 6 カ月で導入

日立システムズのコンテナ DC と HPE の高品質な GPU サーバーを組み合わせ、あらかじめ最適化したモデルとして提供することで、従来約 12 カ月かかっていた導入期間を最短 6 カ月まで短縮します。サーバーの導入だけでなく、特化型 LLM（大規模言語モデル）の構築など AI 活用に必要な基盤の整備までを一貫して支援し、導入後すぐにビジネス活用が可能な環境を実現します。

特長②ファイナンスサービスにより初期費用の負担を軽減

HPEFS による「残価設定リース」や「支払い猶予プログラム」^{*3}を活用することで導入時の初期負担を軽減できます。

「残価設定リース」では日立システムズが提供するコンテナ DC 内のサーバー、ネットワークなどの AI 環境を HPEFS が所定の条件に基づきリースを提供することで、お客さまは月々のリース費用を支払いながら、コンテナ DC 内の AI 環境を自社の設備と同様に使用することができます。また、「支払い猶予プログラム」を付帯することでリース費用の支払い開始を最大 180 日遅らせることが可能です。

これによりお客さまは高額な初期費用をかけることなく、コンテナ DC を導入することが可能になります。

*3 本プログラム適用にあたっては、所定の審査が必要です。場合によっては本プログラムを提供できない場合がございます。

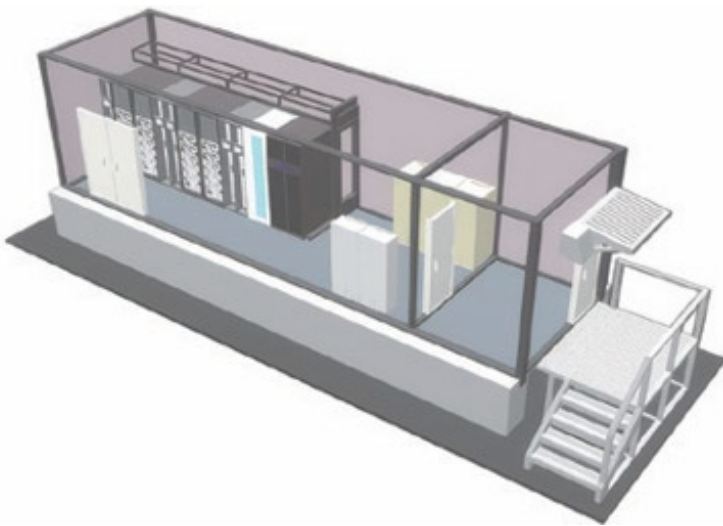
特長③設計・施工から運用・保守まで窓口を一本化

お客さまが個別に手配していたサーバー、コンテナ、周辺設備をモデル化しました。日立システムズが各設備会社との窓口を担うことで、お客さまはマルチベンダー環境においても窓口を一本化することができ、管理負担を軽減できます。

さらに、日立システムズは HPE 製水冷サーバーの保守領域についても、自社による対応（自営保守）の検討を開始しています。これにより、IT 機器と設備の運用・保守を一体で担う体制をさらに強化し、障害対応の迅速化および保守品質の向上を図るとともに、お客さまに対するトータルサポート力の強化をめざします。

特長④人に依存しないデータセンター運用を実現

日立システムズの設備監視システムにより、人の目に頼らない 24 時間 365 日の安定稼働を追求します。これにより、運用担当者の確保が困難なケースにおいても、持続可能なデータセンター運用を可能にし、従来の「人に依存する運用」からの脱却を支援します。



今回の協業によってモデル化するコンテナ型データセンター（イメージ）

■解決する社会課題

データセンター導入期間の長期化と高額な初期費用がかかる問題を解決

ファイナンシャルサービスを含めてモデル化したコンテナ DC を提供することで、建屋型データセンターで課題となっていた数年単位の建設リードタイムを大幅に短縮するとともに、初期費用負担を軽減し、企業の迅速な AI 活用を支援します。

■今後の展望

今後両社は、データセンター関連設備の故障予兆検知や予防保全を高度化し、運用業務のさらなる効率化に取り組みます。さらに、コンテナ DC の可搬性を生かして、全国のお客さまにコンテナ DC を提供することで、地域での AI 活用を支援していきます。

■日本ヒューレット・パッカード合同会社 代表執行役員社長 望月 弘一のコメント

日立システムズ様とのコンテナ型 AI データセンター領域での協業拡大を大変嬉しく思います。

生成 AI の本格活用が進む中、AI 学習環境に加え、業務現場での AI 推論を支える、企業のセキュリティ要件に対応したオンプレミス AI 基盤を迅速に導入したいというニーズが高まっています。日立システムズ様のコンテナ型 AI データセンターソリューションは、電力・冷却・設置などの設備環境を含め、AI 基盤の迅速な導入を支えるものです。これに、HPE が多

数の HPC システム導入実績を通じて培ってきた GPU サーバーを中心とする AI 基盤関連テクノロジーと導入支援の知見、HPEFS によるファイナンスサービスを組み合わせることで、お客さまによる生成 AI の活用や AI 推論基盤の短期間での立ち上げ、早期のビジネス活用を支援してまいります。

■日立システムズのコンテナ型データセンターについて

<https://www.hitachi-systems.com/ind/container-datacenter/>

日立システムズについて

日立システムズは、日立グループの社会イノベーション事業を支える企業として、サステナビリティ経営を推進し、システム開発から運用・保守・工事までをワンストップで提供しています。現場で培ったドメインナレッジと AI を掛け合わせた DX サービスや安心・安全なデジタル環境を実現するマネージドサービスを通じて、お客さまの企業価値向上に貢献します。そして、お客さまとともに社会課題を解決することで、企業理念に掲げる「真に豊かな社会の実現に貢献」してまいります。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

HPE について

HPE(NYSE: HPE)は、AI、クラウド、ネットワーキングの力を結集し、組織が持つ可能性を最大化できるよう支援する、エンタープライズテクノロジーのリーディングカンパニーです。新たな可能性を切り拓く先駆者として、HPE は、イノベーションと高度な知識と経験を通じて、人々の生活そして働き方の向上に貢献しています。HPE は、あらゆる業界のお客様が運用効率を最適化し、データから価値ある示唆を導き出し、その効果を最大化できるよう支援しています。Unlock your boldest ambitions with HPE - HPE はお客様と共に、大きな志の実現に寄与します。

詳細は <https://www.hpe.com/jp/ja/home.html> をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立システムズ

お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。